

代々木図書館新聞

よよぎとしょかんしんぶん

渋谷区立代々木図書館 03-3370-7566

〒151-0053 渋谷区代々木 3-51-8 代々木区民施設 4F

Vol. **20**
2013年1月15日

代々木公園バードウォッチングⅡ

代々木図書館 2013年1・2・3月の予定

2013年1月

- 1月17日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 1月19日(土) 15時～15時30分
こどもカルタ会
- 1月24日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 1月26日(土) 9時～
雑誌リサイクル
- 1月31日(木) 15時～15時30分
おはなし会

2月

- 2月7日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 2月16日(土) 15時～15時30分
おはなしとこうさく会
- 2月21日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 2月23日(土) 9時～
雑誌リサイクル
- 2月28日(木) 15時～15時30分
おはなし会

3月

- 3月7日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 3月21日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 3月23日(土) 9時～
雑誌リサイクル
1日図書館員
- 3月28日(木) 15時～15時30分
おはなし会

●渋谷区立図書館にある野鳥の本

「野鳥と共に 野鳥記コレクション1(全3巻)」中西悟堂著 春秋社／「野鳥と木の実ハンドブック」叶内拓哉著 文一総合出版／「野鳥の羽根 実物大・識別図鑑」笹川昭雄著 世界文化社



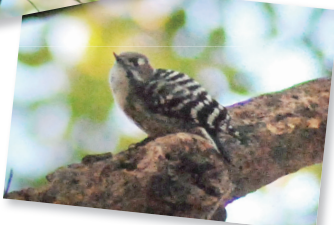
冬鳥がきています



ハクセキレイ



ツグミ



コゲラ

●冬のバードサンクチュアリ
バードサンクチュアリにはエゴノキやイイギリなど、実の成る木が植えられています。昆虫や花の少なくなる秋から冬にかけて、木の実は野鳥の大切な食べ物になります。エゴノキの実が好きなのはヤマガラ、イイギリが好きなのはツグミやヒヨドリです。ツグミはシベリアから冬になると日本に渡って来る鳥。サンクチュアリ周辺の芝生を歩きまわっていることもあります。

●小さなキツキ
木の上からギーと軋むような音が聞こえたら、それはコゲラ。幹を上りながら樹皮の下の虫を食べていて、上りつめると隣の木に移ります。白と黒の縞模様可愛いらしいキツキの仲間の小さな鳥です。代々木公園のバードサンクチュアリ施設の指導者、中西悟堂は「日本野鳥の会」の創設者。観察記録にもとづくエッセイは読み応えがあります。鳥の羽根や好きな実がわかる図鑑は、バードウォッチングを一層楽しくしてくれます。

●水辺にいる鳥
噴水池のそばで見かけるのは、顔と胸が白く、のどが黒いハクセキレイです。夏は背も黒ですが、今の時期はグレーの冬羽です。歩きながら尾を上下に振るのが特徴。チチッチと鳴きながら飛びます。

2013年1月・2月・3月の休館日

2013年1月 15(火)・20(日)・22(火)・29(火) 2月 5(火)・12(火)・14(木)・17(日)・19(火)・26(火)
3月 5(火)・12(火)・14(木)・17(日)・19(火)・26(火)

この新聞は代々木図書館で働いているスタッフが作っています。

twitterやっています。@genkina_yoyolib



カウンターで本の仕分け

人気の「おすすめの1冊」コーナー



中学生が図書館の仕事を経験

昨年11月26日から4日間、中学生2名が職場体験に来ました。本の貸出、返却、本の汚れ防止のカバー掛けなど、図書館の仕事のひとつとおり体験しました。ふたりが作ったおすすすめ本のPOPも展示中です。とても上手にできているのでぜひ見に来てください。後日それぞれから「働くことの大変さと、人の役に立つ楽しさを学んだ」「何よりもあいさつが大切だと思った」というお手紙をいただき、感激しました。体験期間中にご来館いただいた皆様もご協力ありがとうございました。

みなさまから寄せられた

おすすめの本

右:「舟を編む」三浦しをん著 光文社
左:「阪急電車」有川浩著 幻冬舎

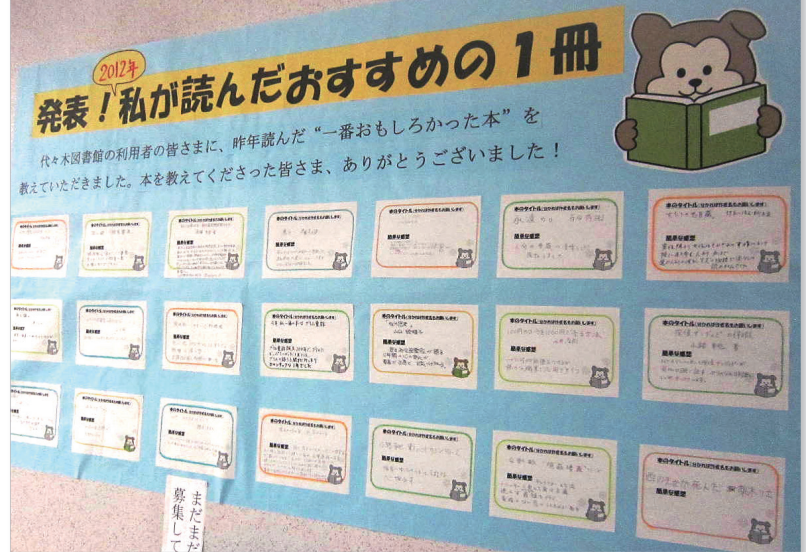


廊下の壁面に掲示された投票用紙。
みなさん立ち止まってじっくりご覧になっています。

去年はどんな本に出会いましたか?

読み始めたらずまらない本や思わず笑ってしまう本、感動したり考えさせられたりした本など様々な本に出会ったことでしょう。

そこで、代々木図書館では、昨年12月、皆様から「2012年 一番感動した、おもしろかった本」を募集いたしました。そして今年の初めから、皆様に記入していただいた用紙を廊下の壁に展示しています。その中からいくつか紹介します。



- 舟を編む「辞書の編纂という地味なテーマだが、おもしろい!」
- 阪急電車「読後感はずいぶん善意を思っておこさせる+微量の毒片類が思わずくずれる」
- 東京バンドワゴンシリーズ(小路幸也著 集英社)「温泉にゆったりつかっている様な心地よさ」

その他にも、素敵な本とご感想をお寄せいただきました。ご来館の際には、是非ご覧ください。新たな投票も大歓迎。随時追加展示させていただきます。

最近これ読みました③

『七回死んだ男』

西澤保彦著 講談社 1995年

人間誰も一度は憧れる特異な能力。本書の主人公はそんな特異能力の持ち主。彼の場合、能力というよりは体質で、その体質とは同じ一日を突発的に、繰り返し体験してしまうというもの。そんな主人公が祖父の殺人事件に巻き込まれ、特異体質を使って孤軍奮闘します。読み始めたら止められない、名作ミステリー。



このコーナーで紹介する本は渋谷区立図書館で借られます。

今年も代々木図書館をどうぞよろしくお願いいたします。

皆様のご利用をお待ちしております。



代々木図書館スタッフ一同

編集後記

本の投票に快くご参加くださったみなさま、本当にありがとうございました。みなさんに紹介していただいた本をさっそく読んでみたいと思います。今年も素晴らしい本に出会いますように!